

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和7年度（2025年度）病害虫発生予察注意報第4号を公表しましたので、送付します。

## 注 意 報

令和7年度（2025年度）病害虫発生予察注意報第4号

農作物名 トマト・ミニトマト  
病害虫名 トマトキバガ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 9月以降
- 3 発生程度 平年比 多

### 4 注意報発表の根拠

- （1）県内6ヶ所の野外に設置したフェロモントラップの一部において、誘殺数の急激な増加が見られる。冬春作の作付が始まる8月以降の誘殺数は、各地域とも調査を開始した令和4年以降で最も多い（図1）。
- （2）令和7年9月現在、県内複数地域の複数ほ場で発生が確認されている。一部の発生ほ場では、果実への被害が発生している。

### 5 防除対策

- （1）施設栽培では、開口部に防虫ネット（目合い1mm以下）を設置し、侵入を防止する。定期的に施設周辺を見回り、ハウスビニルや防虫ネットに破れがないか点検し、破損部は速やかに修繕を行う。
- （2）ほ場内をよく見回り、被害の早期発見に努める。病害虫防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/201915.html>）にフェロモントラップへの誘殺状況を掲載しているので参考にする。トマトキバガ幼虫による被害葉は、ハモグリバエ幼虫による被害葉に似ているため、よく観察する（写真1）。
- （3）被害葉や被害果実は速やかに除去し、ほ場外に持ち出して処分する。被害残渣を野外に放置すると周囲に拡散するため、土中に深く埋設するか、ポリ袋等に1ヶ月以上密封した後に処分する。
- （4）トマトキバガに登録のある農薬を散布する（表1）。薬剤の選定に当たっては、農業研究成果情報No.1068（<https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/252558.pdf>）およびNo.1115（<https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/286329.pdf>）を参考にする。散布に当たっては、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、作用機作の異なる薬剤をローテーションで使用する。特に、前作で発生したほ場では初期防除を徹底する。トマトキバガの密度を抑制し、拡散を防ぐため、薬剤防除は栽培終了2週間前まで継続する。
- （5）栽培終了後は、速やかに施設内の植物を枯死させる。発生ほ場では、1ヶ月以上を

かけて密閉処理を行い施設内のトマトキバガを餓死させる。なお、マルチ等の資材にも蛹や幼虫が付着している可能性があるため、使用した資材は密閉処理期間が終了した後に搬出する。

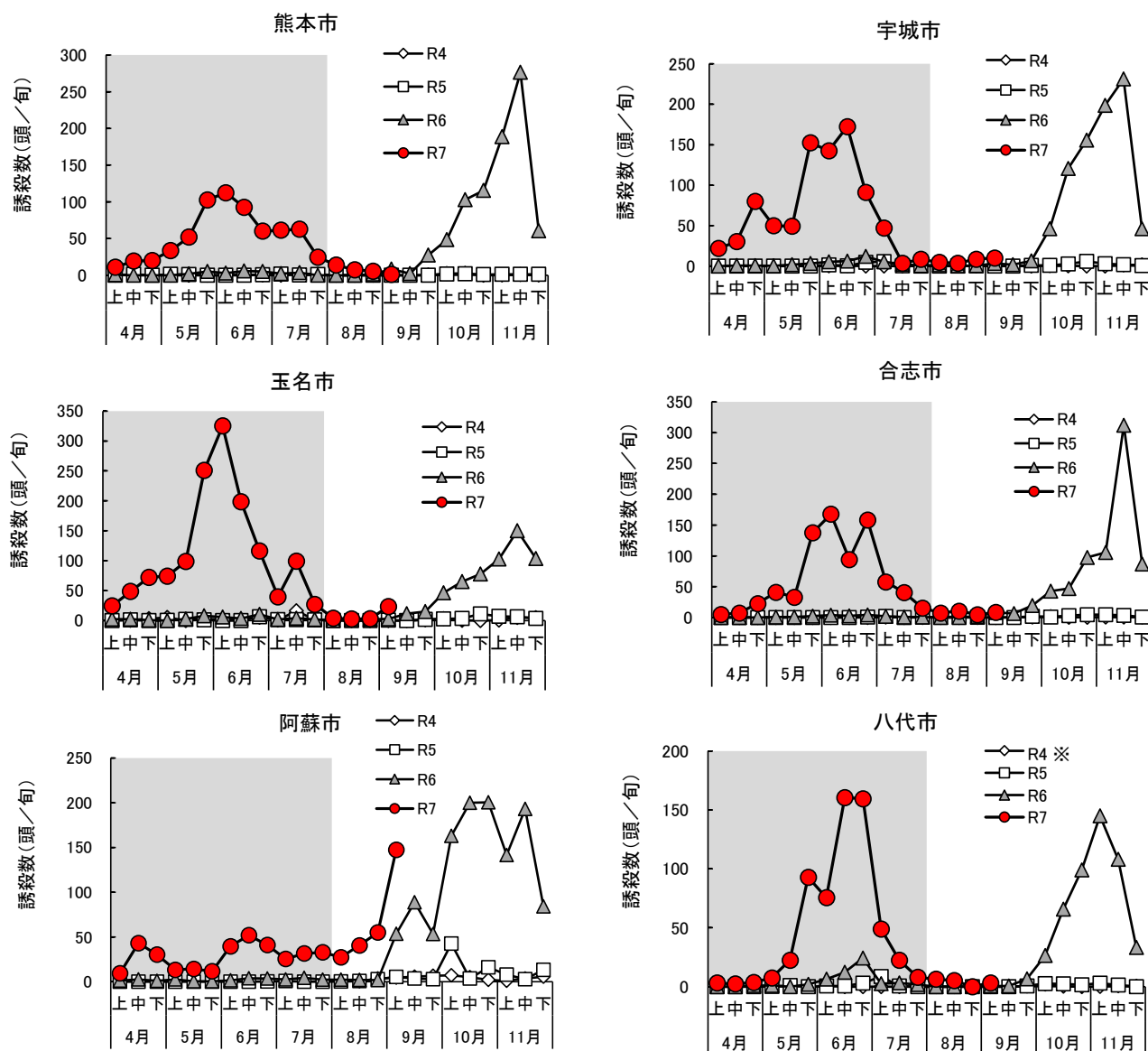


図1 各地域の野外に設置したフェロモントラップへの誘殺数の推移

※ 八代市のR4は6月15日、阿蘇市のR4は7月19日から調査開始



- ・面的に食害される。
- ・葉が透けて見える。
- ・糞が1ヶ所に固まっている。

- ・線的に食害される。
- ・糞が食害の筋上にある。

写真1 トマトキバガによる食害痕(左)とハモグリバエによる食害痕(右)

表1 トマトキバガに登録のある農薬(令和7年9月 18 日時点)

| 農薬の名称            | 登録の有無   |           | IRAC<br>コード<br>※2 | 農薬の種類                 | 使用時期              | 希釈倍数<br>/使用量      | 使用<br>方法 | 使用<br>回数  | マルハナ<br>バチへの<br>影響日数 |
|------------------|---------|-----------|-------------------|-----------------------|-------------------|-------------------|----------|-----------|----------------------|
|                  | トマト     | ミニ<br>トマト |                   |                       |                   |                   |          |           |                      |
| ディアナ SC          | ○       | ○         | 5                 | スピトラム水和剤              | 収穫前日まで            | 2500～<br>5000 倍   | 散布       | 2 回<br>以内 | 3                    |
| ラディアント SC        | ○       | ○         |                   | スピトラム水和剤              | 収穫前日まで            | 2500～<br>5000 倍   | 散布       | 2 回<br>以内 | 3                    |
| ダブルシューターSE       | ○       | ○         |                   | 脂肪酸グリセリド・<br>スピノサド水和剤 | 収穫前日まで            | 1000 倍            | 散布       | 2 回<br>以内 | 3                    |
| アフーム乳剤           | ○       | ○         | 6                 | エマメクチン安息香<br>酸塩乳剤     | 収穫前日まで            | 2000 倍            | 散布       | 5 回<br>以内 | 2                    |
| アグリメック           | ○       | ×         |                   | アバメクチン乳剤              | 収穫前日まで            | 500～<br>1000 倍    | 散布       | 3 回<br>以内 | 7                    |
| アニキ乳剤            | ○       | ○         |                   | レピメクチン乳剤              | 収穫前日まで            | 1000 倍            | 散布       | 3 回<br>以内 | 1                    |
| エスマルク DF         | ○       | ○         | 11A               | BT 水和剤                | 発生初期,但し<br>収穫前日まで | 1000 倍            | 散布       | —         | 影響無し<br>※3           |
| ゼンターリ顆粒<br>水和剤   | ○       | ○         |                   | BT 水和剤                | 発生初期,但し<br>収穫前日まで | 1000 倍            | 散布       | —         | 影響無し<br>※3           |
| チューンアップ<br>顆粒水和剤 | ○       | ○         |                   | BT 水和剤                | 発生初期,但し<br>収穫前日まで | 2000 倍            | 散布       | —         | 影響無し<br>※3           |
| サブリーナフロア<br>ブル   | ○<br>※1 | ○<br>※1   |                   | BT 水和剤                | 発生初期収穫<br>前日まで    | 1000 倍            | 散布       | —         | 影響無し<br>※3           |
| コテツフロアブル         | ○       | ○         | 13                | クロルフェナピル<br>水和剤       | 収穫前日まで            | 2000 倍            | 散布       | 3 回<br>以内 | 9                    |
| トルネードエース DF      | ○       | ×         | 22A               | イトキサカルフ<br>水和剤        | 収穫前日まで            | 2000 倍            | 散布       | 2 回<br>以内 | 6～                   |
| ファイントリム DF       | ○       | ×         |                   | イトキサカルフ<br>水和剤        | 収穫前日まで            | 2000 倍            | 散布       | 2 回<br>以内 | 6～                   |
| アクセルフロアブル        | ○       | ○         | 22B               | メタフルゾン<br>水和剤         | 収穫前日まで            | 1000 倍            | 散布       | 3 回<br>以内 | 8                    |
| プレバソンフロ<br>アブル5  | ○       | ○         | 28                | クロラントリニプロール<br>水和剤    | 収穫前日まで            | 2000 倍            | 散布       | 3 回<br>以内 | 1                    |
|                  |         |           |                   |                       | 育苗期後半～<br>定植当日    | 100 倍             | 灌注       | 1 回       | 1                    |
| ベネビア OD          | ○       | ○         |                   | シアントラニプロール<br>水和剤     | 収穫前日まで            | 2000 倍            | 散布       | 3 回<br>以内 | 1                    |
| ベリマーク SC         | ○       | ○         |                   | シアントラニプロール<br>水和剤     | 育苗期後半～<br>定植当日    | 400 株あた<br>り 25ml | 灌注       | 1 回       | 1                    |
| プリロッソ粒剤<br>オメガ   | ○       | ○         |                   | シアントラニプロール<br>粒剤      | 育苗期後半～<br>定植時     | 2g/株              | 株元<br>散布 | 1 回       | 0                    |
| フェニックス顆<br>粒水和剤  | ○       | ○         |                   | フルベンジアミド<br>水和剤       | 収穫前日まで            | 2000 倍            | 散布       | 2 回<br>以内 | 1                    |
| ヨーバルフロア<br>ブル    | ○       | ○         |                   | テトラニプロール<br>水和剤       | 収穫前日まで            | 2500 倍            | 散布       | 3 回<br>以内 | 14                   |
| グレーシア乳<br>剤      | ○       | ○         | 30                | フルキサメタミド乳剤            | 収穫前日まで            | 2000 倍            | 散布       | 2 回<br>以内 | 1                    |
| プレオフロアブル         | ○       | ○         | UN                | ピリタリル水和剤              | 収穫前日まで            | 1000 倍            | 散布       | 2 回<br>以内 | 影響無し<br>※3           |

※1 「野菜類(はくさいを除く)」で登録があるため使用可能。

※2 IRAC コードとは、殺虫剤の有効成分を作用点と作用機構から分類した番号や記号のことで、  
本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。

※3 薬液が直接マルハナバチへかからないようにする。作物へ散布した薬液を一度乾燥させることで、  
影響を無くすことができる。

熊本県病害虫防除所

(農業研究センター生産環境研究所内)

担当：永野 TEL：096-248-6490